

2026 年 2 月 9 日

各位

会 社 名 株式会社 大 林 組
 代表者名 代表取締役社長 兼 CEO 佐藤 俊美
 (コード：1802、東証プライム)
 問合せ先 本社経理部長 高田 佳明
 (TEL 03 - 5769 - 1701)

通期業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

2025 年 11 月 5 日に公表した業績予想及び配当予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1 業績予想の修正について

2026 年 3 月期の通期連結業績予想（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|-------------|------------------|----------------|----------------|-------------------------|-----------------|
| 前回発表予想 (A) | 百万円 2,570,000 | 百万円 165,000 | 百万円 172,000 | 百万円 149,000 | 円 銭 214.01 |
| 今回修正予想 (B) | 2,570,000 | 195,000 | 205,000 | 170,000 | 244.03 |
| 増 減 額 (B－A) | 0 | 30,000 | 33,000 | 21,000 | |
| 増 減 率 (%) | 0.0 | 18.2 | 19.2 | 14.1 | |

（ご参考）前期実績（2025 年 3 月期）との比較

| | | | | | |
|-------------|-----------|---------|---------|---------|--------|
| 前 期 実 績 (C) | 2,590,765 | 142,469 | 152,236 | 145,355 | 202.91 |
| 増 減 額 (B－C) | △20,765 | 52,530 | 52,763 | 24,644 | |
| 増 減 率 (%) | △0.8 | 36.9 | 34.7 | 17.0 | |

（注）前期実績（2025 年 3 月期）は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載しております。

2026 年 3 月期の通期個別業績予想（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|-------------|------------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|
| 前回発表予想 (A) | 百万円 1,530,000 | 百万円 111,000 | 百万円 154,000 | 百万円 146,000 | 円 銭 209.70 |
| 今回修正予想 (B) | 1,515,000 | 136,000 | 182,000 | 165,000 | 236.85 |
| 増 減 額 (B－A) | △15,000 | 25,000 | 28,000 | 19,000 | |
| 増 減 率 (%) | △1.0 | 22.5 | 18.2 | 13.0 | |

（ご参考）前期実績（2025 年 3 月期）との比較

| | | | | | |
|-------------|-----------|--------|--------|---------|--------|
| 前 期 実 績 (C) | 1,660,662 | 89,418 | 98,673 | 115,721 | 161.54 |
| 増 減 額 (B－C) | △145,662 | 46,581 | 83,326 | 49,278 | |
| 増 減 率 (%) | △8.8 | 52.1 | 84.4 | 42.6 | |

2 修正の理由

(1) 個別業績予想

売上高は、国内建築事業において工事で進捗が想定を下回ったことなどから、前回予想より 150 億円減少する見込みです。

損益の面では、国内建築事業及び国内土木事業において、工期終盤の工事を中心に原価低減及び追加・変更工事を獲得したことなどにより完成工事総利益が増加することなどから、前回予想より営業利益は 250 億円、経常利益は 280 億円、当期純利益は 190 億円増加する見込みです。

また、完成工事利益率は 15.9%（建築 15.2%・土木 17.8%）となる見込みです。（前回発表時の見通しは 13.9%（建築 13.1%・土木 16.3%））

(2) 連結業績予想

個別業績予想の修正に加え、海外の建設子会社において採算性の更なる改善などにより完成工事総利益が増加することなどから、前回予想より営業利益は 300 億円、経常利益は 330 億円、親会社株主に帰属する当期純利益は 210 億円増加する見込みです。

3 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

| | 年間配当金 | | |
|---------------------------|-----------|-----------|-----------|
| | 第 2 四半期末 | 期末 | 年間 |
| 前回発表予想 | | 41 円 00 銭 | 82 円 00 銭 |
| 今回修正予想 | | 46 円 00 銭 | 87 円 00 銭 |
| 当期実績 | 41 円 00 銭 | | |
| （参考）前期実績 （2025 年 3 月期） | 40 円 00 銭 | 41 円 00 銭 | 81 円 00 銭 |

(2) 修正の理由

当社は、普通配当については、長期安定配当の維持を第一に、「自己資本配当率（DOE）5%程度」を目安とした配当を行う方針としております。

＜参考：「自己資本配当率（DOE）5%程度」に基づく普通配当＞

$DOE 5\% = \{(\text{前期末自己資本} + \text{当期末自己資本}) \div 2\} \times 5\% \rightarrow \text{普通配当総額（中間＋期末）の目安}$

この方針のもと、期末配当金を 1 株当たり 46 円（11 月 5 日公表の配当予想から 5 円の増額）とする予定です。これにより、中間配当金 41 円を加えた年間配当金は、1 株あたり 87 円（連結配当性向 35.7%、前期比 6 円増額）となります。

（注）上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上